

# U.S. election: Biden win

BlackRock®

## 米国選挙：バイデン氏の勝利

ジョー・バイデン氏はホワイトハウスの対決に勝利しました。これは、低金利、利回り追求の動きとグロース株が優勢となる市場環境に短期的に回帰することを意味すると考えます。

新型コロナウイルスによる感染拡大という異例の背景のもとで、激戦区ペンシルバニア州における勝利により、バイデン氏は大統領選出に必要な270以上の選挙人の票を獲得しました。選挙結果の行方をめぐるリスクは後退したように思われ、トランプ大統領の法廷の争いがどのようなかたちで市場のボラティリティに影響をもたらすのかを見極めたいと思います。民主党が圧勝する（バイデン氏の当選および、民主党による米国上院の掌握）可能性は低そうですが、2021年1月にジョージア州上院2議席の選挙が予定されており、それまでレースは続くと考えます。

ねじれ議会の場合、バイデン氏が掲げる大規模な財政刺激策や公共投資、税制、医療、気候関連法案を実行する力は制約されるでしょう。その中で、サステナビリティへの関心が高まるとみえますが、それは税制改革やグリーンインフラの整備に向けた投資によってではなく、規制措置を通じたものになるとみえています。また、予測可能な貿易・外交政策への回帰を意味するものと思われるが、米中のライバル関係は超党派的な支持を受けており、緊張は高止まりした状態が続くとみえています。

財政政策は、ウイルスショックによる恒久的な経済的打撃を防ぐために欠かせないものです。足元では、議会がレームダック期間中（選挙を経た議会の移行期間）であっても何らかの緩和措置は可能とみえますが、財政刺激策や公共投資の範囲や規模は、大統領と議会が民主党支配の状態を実施する場合よりも、はるかに控えめなものになると思われる。景気対策の早期縮小は、これまで上向きであった経済活動の再拡大を後退させる可能性があるため、財政面の対応を注視しています。

米国の長期債の利回りは、民主党の圧勝を予想して選挙に先行して上昇していました。中期的にはインフレ率が上昇すると予想され、利回りの上昇につながりました。ねじれ議会になるとの見通しを背景に、利回りは再び低下しました。利回りの緩やかな上昇は、特に金融危機後の市場で優勢であったクレジット市場やグロース企業にとって、リスクとなる兆候であると考えています。

ねじれ議会の下では、ハイテク企業やヘルスケア企業、クオリティ・ファクターの特性を持った企業、大型株のパフォーマンスが良好になるとみえています。新興市場の資産は、特にアジア（日本を除く）について、貿易をめぐるマインドの改善を受けてパフォーマンスが良好になると考えています。多くのアジア諸国は、ウイルスの感染を食い止め、経済の再開に向けて前進しています。ブラックロックは選挙結果を踏まえて、戦術的な資産の見直しをしています。主要なインプットとしては、ウイルスの動向と今後の展開、ワクチン供給のタイムラインが含まれており、市場のインフレ期待が前倒しとなり、株式市場のけん引役が景気敏感株に代わる可能性があります。

## Key market views

上院の支配なき民主党の勝利は、利回り追求やグロース株などの市場トレンドが強化される可能性があります。

バイデン氏と分断された議会は財政刺激策の障害となる可能性があり、債券の利回りとインフレ期待の上昇が抑制される可能性があります。

バイデン氏の下で、サステナビリティ、規制強化、そして予測可能な貿易政策が着目され、新興市場の資産が下支えされるとみえています。

## Bulletin

Nov. 7, 2020

BlackRock  
Investment  
Institute

## 重要事項

当レポートの記載内容は、ブラックロック・グループ（以下、ブラックロック）が作成した英語版レポートを、ブラックロック・ジャパン株式会社（以下、弊社）が翻訳・編集したものです。また当資料でご紹介する各資産の見通し（米ドル建て）は、米国人投資家などおもに米ドル建てで投資を行う投資家のための見通しとしてブラックロック・グループが作成したものであり、本邦投資家など日本円建てで投資を行う投資家の皆様を対象とした見通しではありません。

記載内容は、米ドル建て投資家を対象とした市場見通しの一例として、あくまでご参考情報としてご紹介することを目的とするものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではなく、また本邦投資家の皆様の知識、経験、リスク許容度、財産の状況及び金融商品取引契約を締結する目的等を勘案したものではありません。記載内容はブラックロック及び弊社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。各種情報は過去のもの又は見通しであり、今後の運用成果を保証するものではなく、本情報を利用したことによって生じた損失等についてブラックロック及び弊社はその責任を負うものではありません。記載内容の市況や見通しは作成日現在のブラックロックの見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し予告なく変更される可能性があります。またブラックロックの見解、あるいはブラックロックが設定・運用するファンドにおける投資判断と必ずしも一致するものではありません。

## 投資リスク・手数料について

### ・投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、投資信託は元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては各投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### ・手数料について

弊社が運用する公募投資信託については、ご投資いただくお客さまに以下の費用をご負担いただきます。

#### ■ 直接ご負担いただく費用

お申込み手数料：上限4.40%（税抜4.0%）

解約手数料：ありません。

信託財産留保額：ファンドによっては、信託財産留保額がかかる場合もあります。

投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面の内容をご確認ください。

#### ■ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬：上限2.6158%（税抜2.378%）程度

#### ■ その他の費用

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。（その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。）

※リスク及び手数料の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。

## お問い合わせ先

ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号

加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

ホームページ <http://www.blackrock.com/jp/>

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館

# BlackRock